

令和4年度第1回 自転車等駐車対策協議会

◆報告事項 第2号◆

シェアサイクル事業について



表紙写真：ブランチ調布 シェアサイクルステーションより

1. 説明内容

1. 説明内容
2. シェアサイクル事業の経緯
3. シェアサイクル事業の利用実態報告
4. 今後の展開

2. シェアサイクル事業の経緯

シェアサイクル事業の概要

- シェアサイクルとは、ステーション(専用駐輪スペース)間で片道利用のできる自転車サービスのこと。事前に会員登録が必要。事前にシェアサイクル事業を運営するアプリまたはウェブサイトから登録(無料)を行い、登録後は予約が可能。
- シェアサイクル事業 利用料金について
利用料金:30分130円 延長15分ごと100円
最大12時間1,800円
(令和4年4月1日より料金改定)
- 市民や来訪者の回遊性・利便性の向上を図るため、民間事業者と連携し、市の施設等へのサイクルステーション設置の協力や利用状況の調査等、シェアサイクル事業の実証実験を実施した。3年間の実証実験を経て、令和4年度からの事業の本格実施に向け、運営事業者と協定を締結。



シェアサイクルステーション設置事例写真

■これまでの取組

- 平成31年4月1日 : シェアサイクル事業に取り組んでいる民間事業者と提携
～令和4年3月31日 し、**3年間の実証実験を開始**
- 令和3年10月～11月: アンケート調査を実施
- 令和4年1月: 「調布市シェアサイクル事業実証実験報告書」を作成
- 令和4年3月: 本格実施に向けて**調布市とOpenStreet株式会社が協定締結**

3. シェアサイクル事業の利用実態報告①

■シェアサイクル事業のニーズ

≫ 利用者アンケート(概要)

調査目的:シェアサイクル利用者の意向・目的・交通行動
の変化などを把握するため

実施方法:WEBアンケート調査

回収期間:令和3年10月15日~10月21日

調査対象:令和3年7月から9月に市内でサービスを利用
した7,341人

有効回答:463人

≫ 利用者アンケート結果

約9割がシェアサイクルに「満足」

利用目的は「買い物など」が最多

利用により「行動範囲が広がった」

「駅・バス停」「商業施設」などにステーション
を拡大してほしい

≫ 非利用者アンケート(概要)

調査目的:シェアサイクル非利用者の意向・改善点・交通
行動の変化などを把握するため

実施方法:WEBアンケート調査

回収期間:令和3年11月5日~11月8日

調査対象:市内在住でシェアサイクル未利用者

サンプル数:400人

(性別・年代で偏りのないよう均等に取得)

≫ 非利用者アンケート結果

非利用者でも認知度は8割以上

「利用したい」は約4割

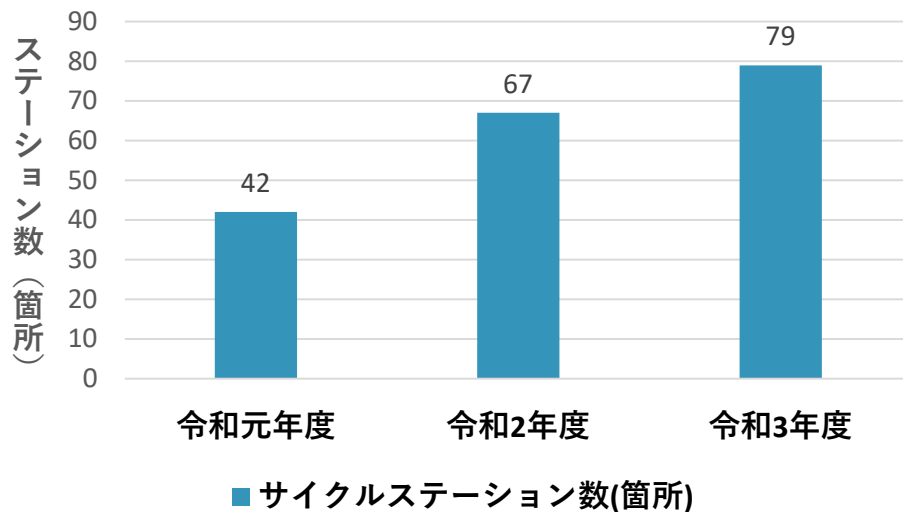
「観光・レジャー」, 「買い物など」で利用
したい人が最多

「駅・バス停」などにステーションを拡大し
てほしい

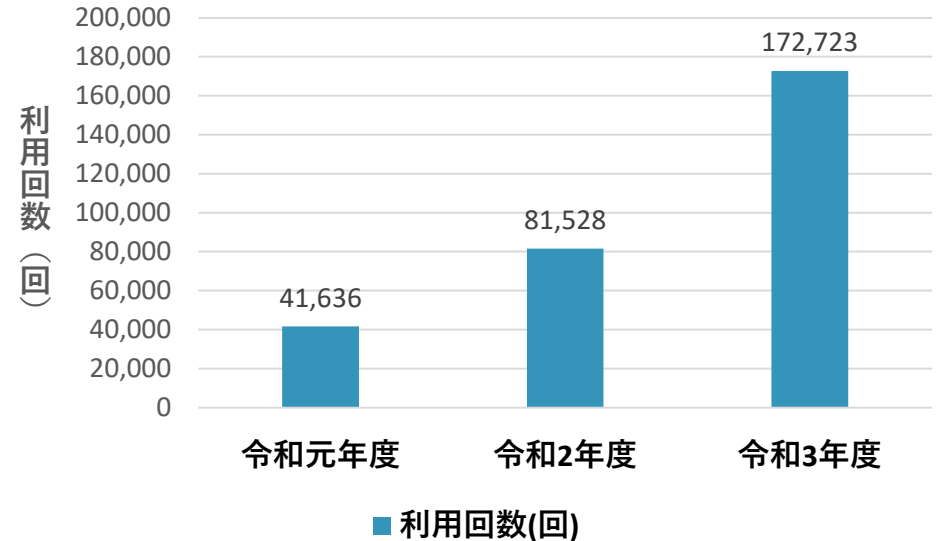
3. シェアサイクル事業の利用実態報告②

》》 シェアサイクル事業(実証実験)3年間の推移

市内サイクルステーション設置状況



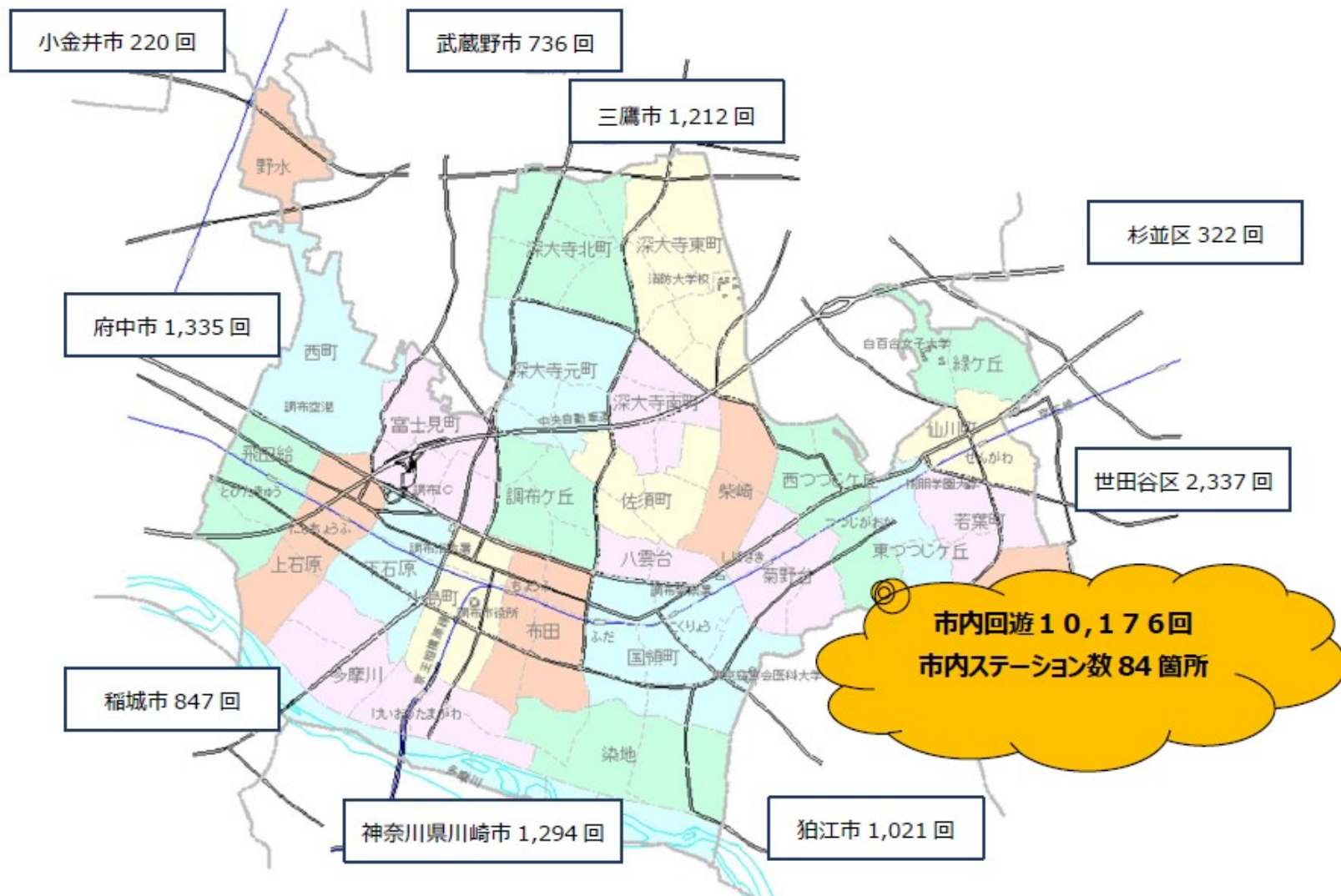
利用回数 (年間累計)



3. シェアサイクル事業の利用実態報告③

■調布市外の移動実態

≫ 調布市内・周辺自治体間の利用回数(令和4年8月の報告データより)



4. 今後の展開について

■今後の在り方

- シェアサイクル利用者は**増加傾向**にあり、**満足度も高い**
→さらなる利用者の増加とシェアサイクルの周知, 利用促進が必要

市が実施する対応策

- ・シェアサイクルの周知, 利用促進
- ・観光施設等との連携



シェアサイクル事業者に実施を働きかける対応策

- ・ステーション増設及び適正配置の検討
- ・シェアサイクル車両のメンテナンス向上

■シェアサイクル事業の継続により期待される効果

- ・自転車利用者の満足度向上 自転車利活用が**増加**し, 新たな交通手段として定着
- ・健康問題や環境問題への対応 自転車利用により**市民の健康増進**や**環境負荷軽減**へ寄与
- ・観光振興への寄与 市内や隣接市区からの回遊により, **観光振興への寄与**
- ・災害発生時の移動手段の確保 移動手段の確保により, **社会活動の維持**に貢献